

2024 年度 高等学院同窓会学術研究奨励金 研究成果報告書概要（WEB 公開用）

高等学院長
高等学院同窓会理事長 殿

研究代表者氏名 [松木悠将]

学年・組・番号 [3 年 G 組 41 番]

研究課題： 附属連携の意義について―「附属連携プロジェクト」の活動から見る早稲田の可能性―

(英文) The Significance of Affiliated Cooperation: Waseda's Potential as Seen through the Activities of the "Affiliated Cooperation Project"

研究概要：

(研究課題を選んだ動機、達成するための計画・目的・方法等について 200～400 字で記入してください)

本プロジェクトは早稲田大学の付属校である高等学院と本庄高等学院を中心に幾つかの系属校で共に一つの目標に向かって行動することでお互いの交流を深めることを目的に活動している。その活動の一環として普段定期的に行われる zoom でのミーティングをより円滑に進めるためにこの奨励金を使わせていただいた。そしてそのミーティングを通して話し合いを進め、オフラインイベントを開催した。参加者にはこのイベントを通じて、多様な価値観を育み、コミュニケーション能力の向上を求める。本イベントでは実際に早稲田大学に通う先輩方に協力を仰ぎ、これからの進学に向けての不安や悩みなどを直接“生の声”を届けられる場を設け、双方の生徒にとって意義のある時間を意識した。

研究成果：

(研究の結果概要、結果に対するフィードバックや感想等について 200～400 字で記入してください)

本イベントを通して本来の目的である付属校同士のネットワークが強まると共に大学との繋がりもより強く結ぶことができたと思われる。そうして異なる視点や考え方を学べたと同時にグループディスカッションなどの双方向の交流を通じて互いのつながりを深めることができたと思われる。そして大学生の先輩方が我々高校生の大学に対する不安などに真摯に向き合ってくくださったことで、これらの実体験に基づくアドバイスが、高校生の大学生活に対する具体的なイメージ形成に寄与したと考えられる。参加者にはこの貴重な経験を活かし、大学生活での学習を円滑にし、主体的に取り組むことができることを願う。

研究者：(以下の、代表者・分担者は学年・組・氏名を明記する)

研究代表者 3 年 G 組 松木悠将

研究分担者 3 年 G 組 小山由貴 2 年 I 組 大谷空椰 2 年 K 組 須磨結生

担当教諭 武沢 護

(受給額： 26,000 円)

※研究課題、研究概要、研究成果、研究代表者名が WEB ページ上で公開されることに同意します
(次のページに続きます)

研究成果写真：

(研究過程がわかる写真や、研究結果がわかる写真などを数点貼り付けてください)



以上